

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス アイデア泉田事業所

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

25 日

法人（事業所）理念		お子様一人ひとりの個性を尊重し、自己肯定感を育みます。将来に向けたさまざまな経験や学びの機会を提供します。					
支援方針		得意を伸ばし、不得意を補う個別の療育や集団活動でのソーシャルスキルトレーニングを行います。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日常生活の自立に向けての練習（食事、排泄、更衣や身支度、整理整頓、掃除など）・お口の体操など。長期休暇ではお買い物体験、公共交通機関利用の練習、様々な体験活動などを実施。					
	運動・感覚	外遊び・姿勢の保持（体幹）・工作（指先や手の感覚や感触）のプログラム実施。感覚統合支援。（利用ごとに個別療育、少人数療育を45分間+集団療育や小集団療育を実施）クッキングや工作や身体を使用したゲームを行ったり、個別療育の中で手指の細かい作業や身体の使い方の練習を行い、生活の動作に役立てていけるようプログラム実施。					
	認知・行動	就学に向け、時計を見ながら活動できるよう支援。就学までに名前、ひらがなの習得ができるよう支援。自分で考え、少しずつ自分で決断することが出来るようプログラム実施。発達を促す課題を実施。（利用ごとに個別療育、少人数療育を45分間+集団療育や小集団療育を実施）					
	言語 コミュニケーション	指示理解や発語を促す（ボックスや身振り等）プログラム実施。（利用ごとに個別療育、少人数療育を45分間+集団療育や小集団療育を実施） 他者に自分の気持ちを伝えたり他者の気持ちの理解ができるようソーシャルスキルトレーニングを実施。 生活に必要な言葉が増えるよう、語彙数の獲得に向けた訓練の実施。出来事や経験を時系列に沿って伝えることができるような訓練等、コミュニケーションに必要な訓練を実施。					
	人間関係 社会性	集団活動への参加が難しい場合に、参加するための手段を模索し、支援するプログラムを実施。ルールを理解して参加できるような手立てを検討し、支援を行う。（利用ごとに個別療育、少人数療育を45分間+集団療育や小集団療育を実施） 気持ちの切り替え練習。アンガーマネジメント。援助要求や言葉での説明や気持ちの表出の練習。新奇場面での不安を緩和するための手立てや柔軟な考え方をやっていく練習。					
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 年2回のモニタリング、定期面談、随時面談を実施			移行支援		園、学校、関係機関との連携
地域支援・地域連携		近隣スーパーや商業施設への買い物			職員の質の向上		平日毎日のミーティングによる情報共有。事例検討会。資格取得。各種委員会の設置。社内での勉強会や研修。社外での研修。
主な行事等		年3回祝日に親子参加型のイベント（スポーツ、文化） 季節行事、保護者様茶話会、ペアレントトレーニング講演会					